

# エルサルバドル政治経済月報

(2018年8月分)

2018年9月  
在エルサルバドル大使館

## [大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

## [大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

## 内政

### 1. 大統領選挙に関する世論調査

31日付当地主要紙「ラ・プレンサ・グラフィカ」が2019年大統領選挙に関する世論調査の結果を発表した。国民統合のための大連合（GANA）から出馬予定のブケレ前サンサルバドル市長が21.9%の支持率で首位。最大野党国民共和同盟（ARENA）のカジェハ・カジェハグループ副会長が17.6%で続く。政権与党ファラブンド・マルティ民族解放戦線（FMLN）のウーゴ・マルティネス前外相は8.6%と劣勢に立たされている。

## 外交

### 1. カスタネダ外相のコロンビア訪問

7日、カスタネダ外相がコロンビアを訪問し、サンチェス・セレン大統領の代理としてドゥケ・コロンビア大統領就任式典に出席した。同外相は就任式典後、ドゥケ大統領と会話し、エルサルバドルとコロンビアの友情と協力の関係を強化し続けることに対するエルサルバドルの意思を改めて表明した。

### 2. サンサルバドル市と米国ワシントンDCの姉妹都市提携

13日、サンサルバドル市と米国ワシントンDCの姉妹都市提携が発表され、記念式典が催された。

### 3. サンチェス・セレン大統領の中米北部3カ国首脳会談への出席

20日、サンチェス・セレン大統領はホンジュラスのコリント国境において、エルナンデス・ホンジュラス大統領及びモラレス・グアテマラ大統領と会談を行った。右会談において、グアテマラ・ホンジュラスの税関統一へのエルサルバドルの加盟が発表された。

### 4. 台湾との断交及び中国との外交関係樹立

20日、サンチェス・セレン大統領は国営放送において国民向けの演説を行い、国内の様々なセクターとの協議及び慎重な検討の結果、国民の利益につながる国家目標の達成のために、台湾と断交し、中国と外交関係を樹立する旨発表した（中国との外交関係樹立は21日）。

21日、メインズ当国米国大使はメディア取材に応じ、エルサルバドルと中国の外交関係樹立に関する交渉のプロセスは透明性を欠いたものであり、エルサルバドル政府に対し、かかる交渉の詳細を国民に対し説明するように求めた。また、米国がエルサルバドルに援助を行う条件として掲げている16項目の一つに汚職撲滅があることから、米国政府はエルサルバドルに対する援助の見直しも検討している旨述べた。

23日、米務省はサンダース報道官名の声明を発表し、エルサルバドル政府が中国による西半球国の国内政治への明らかな干渉を受け入れたことは、米国にとって重大な懸念を有しており、米国のエルサルバドルとの関係を再評価することにつながるであろうと、対エルサルバドル関係の見直しを示唆した。

## 経済

### 1. 干ばつ問題

国連食糧農業機関（FAO）エルサルバドル事務所代表は、エルサルバドルが中米において最も干ばつの被害を受けている国である旨公表した。また、同代表は、当国が気候変動に脆弱な国第11位であり、FAOがプロジェクトを実施している地域の50%が収穫と生産に被害を受けている旨言及。

政府発表によれば、特にトウモロコシの被害が甚大であり、約3,000万ドルの損失が生じている由。

### 2. 再生可能エネルギー発電割合の上昇

電気通信監督庁（SIGET）は、当国の再生可能エネルギー発電割合が上昇しており、火力発電の割合が減少している旨公表した。本年3月までの再生可能エネルギー発電構成比は55%となっており、内訳はバイオマス、地熱発電、水力発電、太陽光発電となっている。

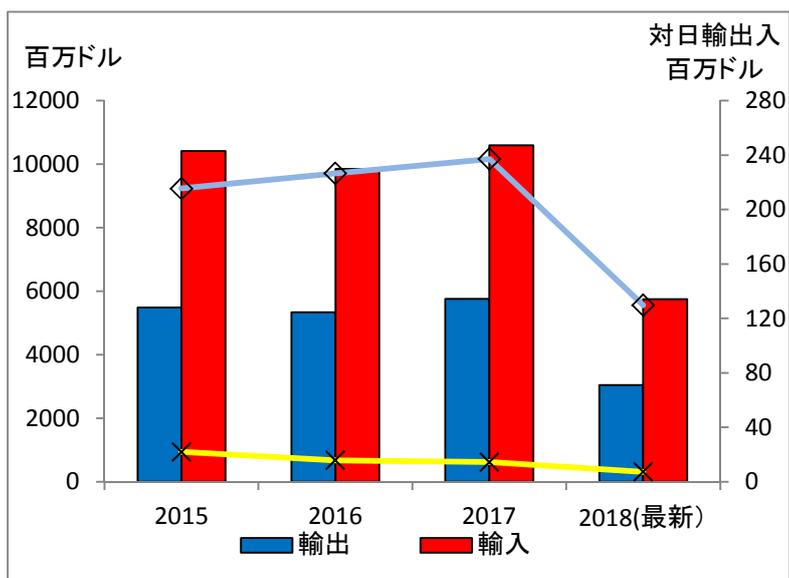
### 3. 地熱発電プラント建設のための融資依頼

当国地熱発電会社 La Geo は地熱井掘削とその後の地熱プラント設置のために約4億ドルの融資を世銀に依頼。La Geo を管轄するロペス・レンパ川水力発電委員会（CEL）総裁によれば、現在、世銀技術グループが本プロジェクトを評価中。他方、同総裁によれば、本件は時間がかかる見通しであり、さらに、国会での承認が必要である旨言及。

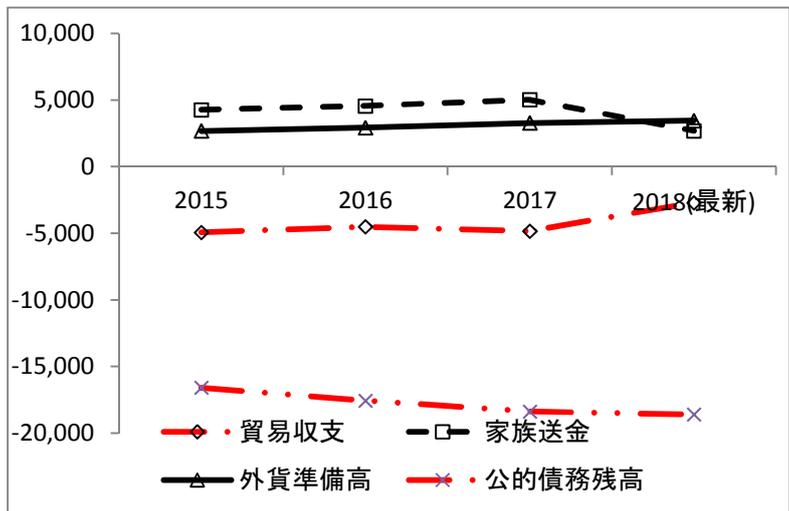
#### 4. 中国との国交樹立による台湾とのFTAの動向

ロドリゲス経済大臣は、中国との通商関係が保証されるまでは、台湾とのFTAを脱退しない意向である旨発言。他方、中国との通商関係については、第一段階が特惠関税協定の交渉、第二段階がFTAの可能性を検討する旨発言。

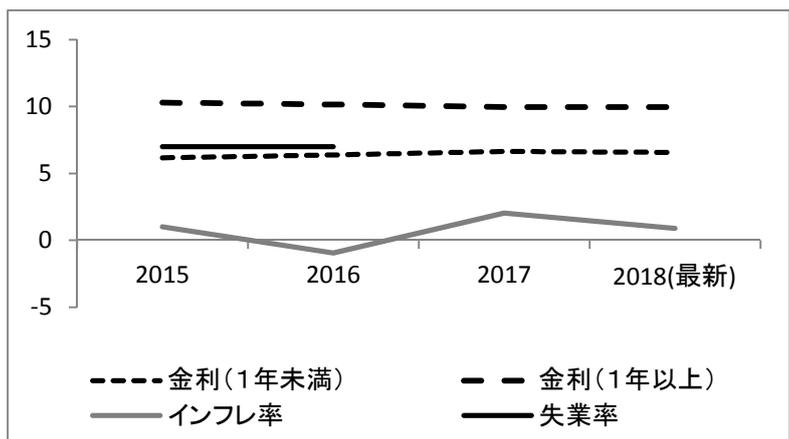
なお、台湾とエルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス3か国FTAの条項には「いずれの締約国も条約を破棄することができる。中米諸国の1か国が条約破棄を行った場合は、その他2か国と台湾の条約の効力は維持されるが、台湾が1か国との条約破棄を行った場合、全ての国との効力が失効される」「一方の政府が条約破棄通知を書面にて他方の政府に行ってから、180日後に効力を失う」と規定されている。



・2018年7月までの輸出額は30億4,792万ドルとなった。輸入額に関しては、57億5,225万ドルとなり、貿易収支は27億433万ドルの赤字となった。



・2018年6月までの家族送金額は26億8,800万ドルとなり、前年同月比で9.3%増加した。その内25億1,080万ドル(93.4%)が米国からの送金であった。



2018年6月のインフレ率の上昇率は前年同月比0.9%となった。

## 治安

### 【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、8月の殺人件数は272件、本年1月から8月末日までの殺人件数は2,365件となり、昨年同時期と比べると約3%減少(2017年同時期よりも81件減)。なお、女性の殺人件数については、273件(前年同時期と比べると4件減少)であり、依然として、女性に対する暴力事件が日々報道されている。

2. 8月7日付、当地主要紙の報道によると、警察官及びその家族に対する殺人事件の増加を受け、治安当局は、本年10月30日まで有効なマラスに対する特別措置を再延長させないことを目的として、政府に対して圧力を掛けるために一連の犯罪に力を注いでいると説明している。仮に、この特別措置が再延長された場合(註:8月17日、議会で永久措置とすることを承認された)に、その報復として急激な殺人件数の増加及びマラスと治安部隊との衝突の激化等、予想されるため、引き続き、治安状況の推移を注視していく必要がある。なお、本年における(1月から8月15日まで)警察官の殺害件数は16名となった。

3. 8月25日付、当地主要紙の報道によると、ラ・リベルタ県の港付近(El tunco方面に進む橋)にて、パトロールをしていた治安部隊に対して、車両にて接近してきた犯罪集団マラス5名が銃器にて発砲し、銃撃戦となった。この銃撃戦の結果、マラス構成員1名死亡、3名負傷し(残りの1名は無傷)生存者はすべて逮捕された。治安当局によると、前日にもLos Planes de Renderosにて警察官が殺害されており、同一犯の可能性があると調査を進めている。

現在、マラスの標的は、治安部隊に集中しており、パトロールをしている警察車両や休暇中の警察官が狙われていることから、不測の事態に巻き込まれぬよう注意する必要がある(警察車両付近を走行しない及び、治安関係の大きなイベント等の参加は控える等)。

### 【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 8月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

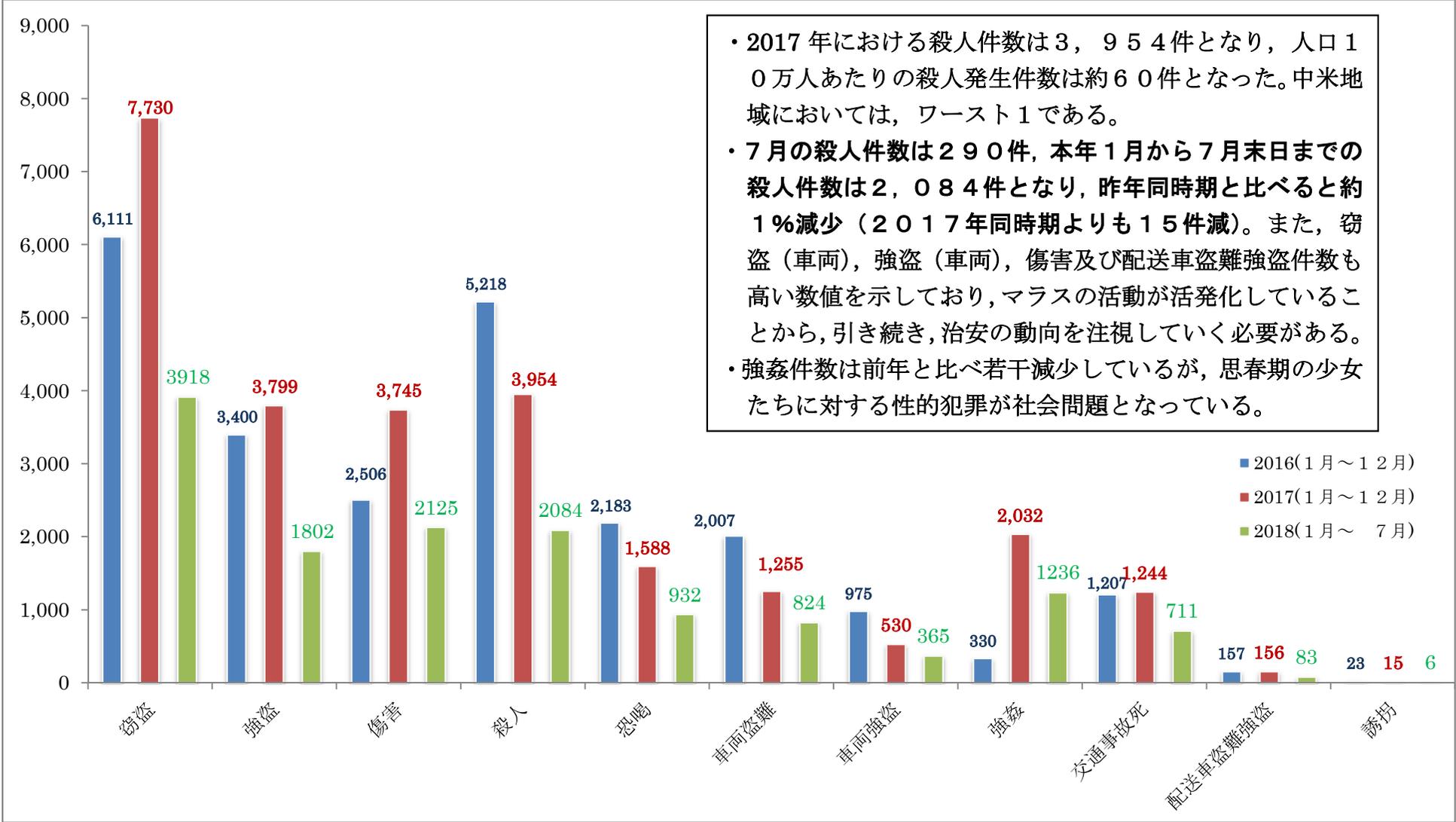
【観光地等における危険度レベル】

レベル1:十分注意区域

レベル2:不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計  
主要 11 犯罪（7 月）過去 2 年との同時期の比較



## 主な大使面談来館者

- 8月14日 JICA ボランティア調整員：交代挨拶
- 8月23日 SATREPS 地熱井調査：調査報告
- 8月24日 La Prensa Grafica：インタビュー
- 8月29日 JICA シャーガス病調査員：着任挨拶
- 8月29日 サンサルバドル市長他市役所：諸件打合せ
- 8月31日 防災協力関係資材調達：報告
- 8月31日 アミーゴ会第2回目懇談会：教育大臣、次官同席

(大使の外出打合せ・訪問件数：27件)